

山代ニ子塚古墳 (6世紀中頃)

～出雲東部を治めた大首長墓（出雲最大級の前方後方墳）～

目次

1. おすすめポイント
2. 説明
3. 現地写真
4. 「鳥の目」で
5. アクセス

資料番号

E4

初版：2025.12.7



1. おすすめポイント

★隣接する「ガイダンス山代の郷」は必見！

手作り感満載の展示は興味深い内容に満ちています。是非ここで予備知識をつけての見学をお勧めします。

★なんと古墳内部の「土層断面」を観察できます！

作業者が一人が一度に運んだ「土の量」を見て取れます。2種類の土を交互に積層したことも明確
築造当時の光景が目に浮かぶような不思議な感覚に

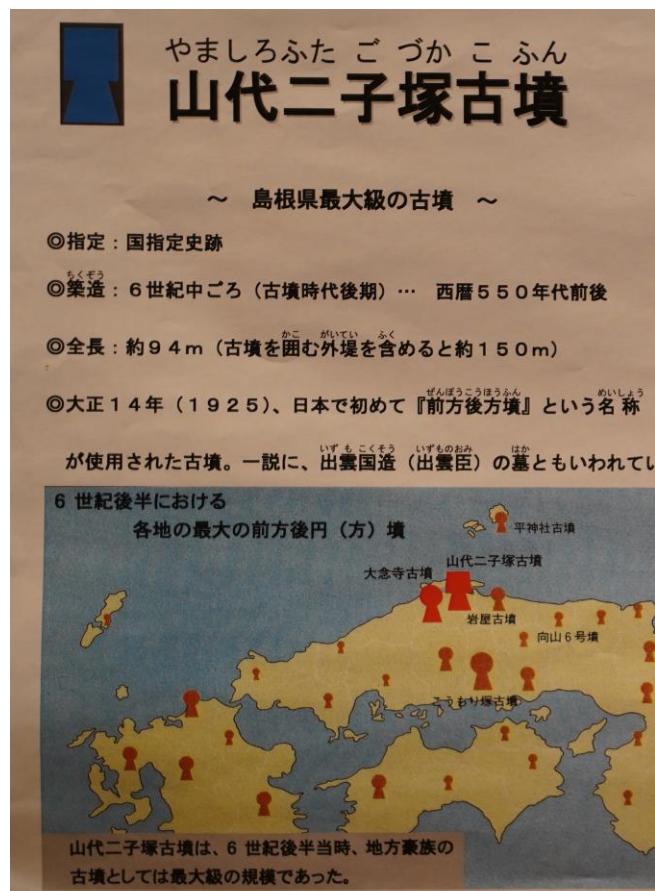
2. 説明

古墳に隣接する「ガイダンス山代の郷」の展示から一部を紹介します (2020年6月時点)



2-1

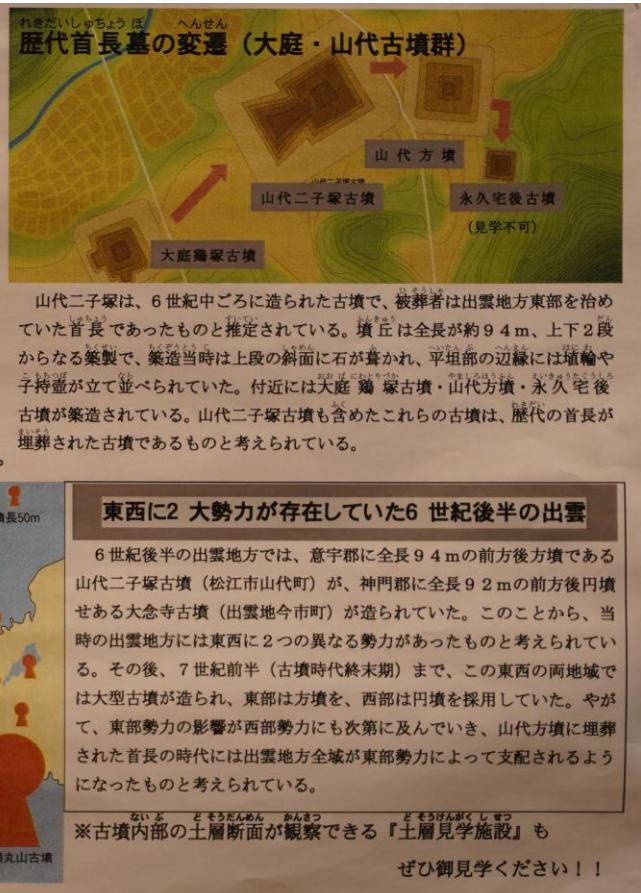
手づくり感満載の展示
味わい深く、解りやすいです。



2-2

ポイント！

- ・山代二子塚古墳は日本で初めて「前方後方墳」と呼ばれた古墳
- ・6世紀後半、出雲には東西2つの勢力があった。山代二子塚古墳は東勢力の首長墓、歴代の首長墓は大庭鶏塚古墳→山代二子塚古墳→山代方墳→永久宅後古墳の順



西 vs 東



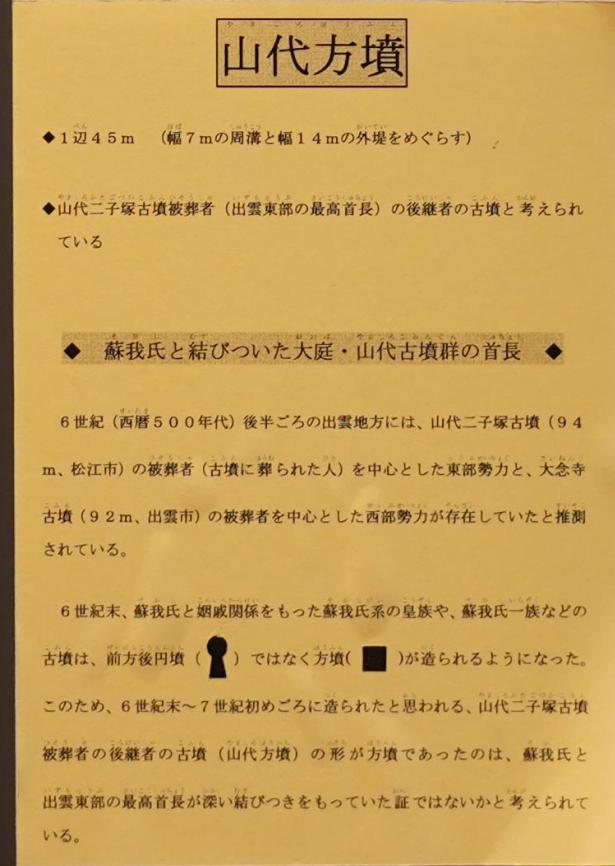
「ガイダンス山代の郷」
の展示抜粋



西暦	西部勢力	東部勢力	天皇	関連事項
550年頃	<p>最高首長</p> <p>半分</p> <p>西部No.2の豪族</p> <p>妙蓮寺山</p> <p>放れ山</p> <p>宝塚</p> <p>桜山</p>	<p>最高首長</p> <p>山代二子塚</p> <p>大念寺</p> <p>上塩冶築山</p> <p>地蔵山</p>	欽明	<p>552 仏教公伝 (壬申説)</p>
600年頃	<p>色は墳形・規模のあいまいなもの</p> <p>※実年代との対比はおよそのものである</p>	<p>最高首長</p> <p>向山1号</p> <p>岩屋後</p> <p>永久宅後</p> <p>山代方墳</p>	用明・崇峻・推古 舒明・皇極	<p>587 蘇我馬子・物部守屋を滅ぼす 592 馬子・崇峻天皇を暗殺 593 聖德太子・攝政となる 603 冠位十二階制定 607 遣隋使</p> <p>645 大化の改新</p>

挿図110 6世紀後半から7世紀前半の出雲東西の最有力古墳の編年

山代方墳 (山代二子塚の次代)



2-5

「ガイダンス山代の郷」の展示抜粋

ポイント！

◎出雲 東西勢力の特徴（7世紀前半まで）

・東（意宇）

・**方墳**を採用

・龍をかたどった大陸風の飾りがある太刀（**渡来系 蘇我氏**と同じ）

・西（神門）

・**円墳**を採用

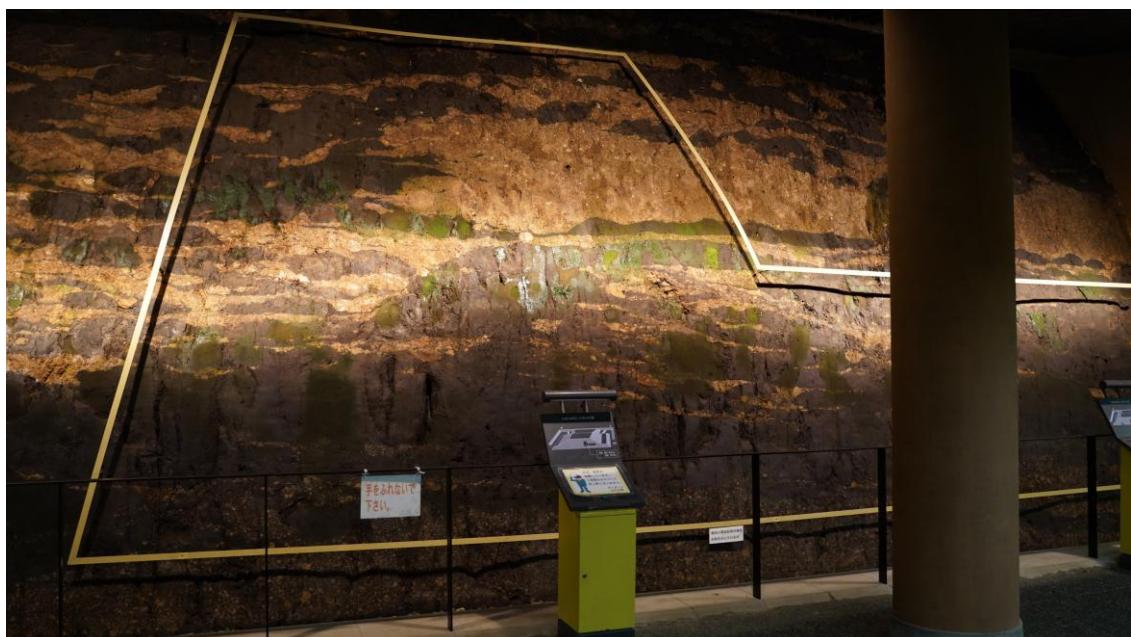
・シンプルで伝統的な和風の飾りがある太刀（**在地系 物部氏**と同じ）

◎大和での政権争いの結果に呼応する形で**東勢力が西に及んでゆき、やがて一つの出雲にまとまってゆく**

3. 現地写真



3-1



3-2

古墳の土層

この古墳は、地山の黄色い土と地表の黒ボク土を交互に積んで古墳がくずれないように、石室が雨もりしないようにつくり上げています。ところどころに黒ボク土が団子のように固まっていますが、これは1人が一度に運んだ土の固まりと考えられます。

白いテープは奥にあると予想される石室の形状

こげ茶色の土ひとたまりが「一人が一度に運んだ」量！

4. 「鳥の目」で

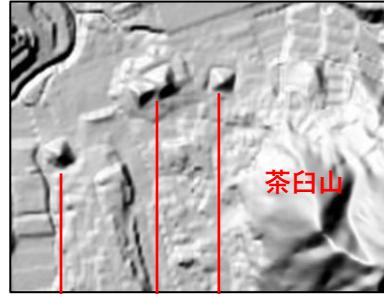


4-1

南東を望む

DID避け馬橋川上空から

▼地理院地図陰影起伏図に赤で追記



4-2

· 大庭鷄塚古墳

茶臼山

山代方墳 山代二子塚古墳

鳥塚古墳

4-3

73

神奈備である茶臼山を中心に首長墓群、国府、国分寺・・・正にこの地域の古代中心地です

首長たちも「茶臼山が最も美しく見える場所」で眠りたかったのではないかでしょうか？

5. アクセス



5-1



5-2



ガイダンス山代の郷
駐車場あります

5-3